

## 【豊島区】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく胃がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胃部X線検査)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	69,484	74,215	143,699
【東京都調査による対象者率(区部): 60.5%】			
実際の受診者数	2,401	2,377	4,778

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	30~39歳
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

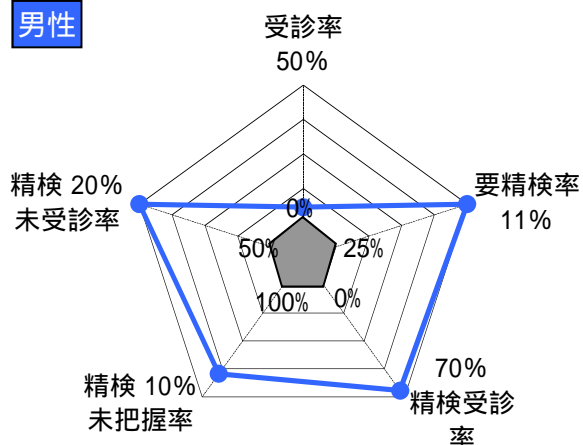
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

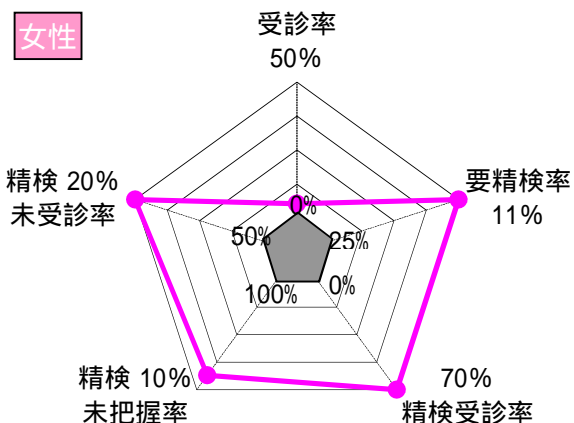
## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.7%	5.3%	5.5%
要精検率	11%以下	2.3%	1.0%	1.7%
精検受診率	70%以上	66.1%	73.9%	68.4%
精検未把握率	10%以下	28.6%	21.7%	26.6%
精検未受診率	20%以下	5.4%	4.3%	5.1%
陽性反応適中度	1.0%以上	7.1%	0.0%	5.1%
がん発見率	0.11%以上	0.17%	0.00%	0.08%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【豊島区】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく肺がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	69,484	74,215	143,699
【東京都調査による対象者率(区部): 66.6%】			
実際の受診者数	2,978	3,160	6,138

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	<b>胸部CT検査</b>

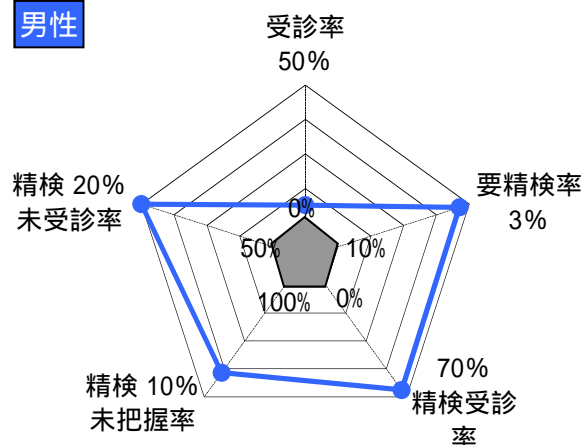
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

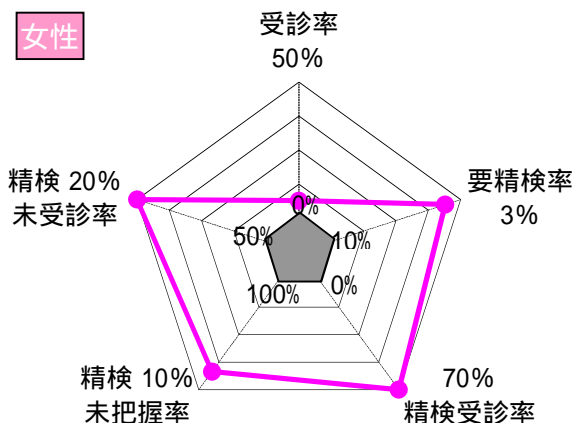
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	6.4%	6.4%	6.4%
要精検率	3%以下	3.5%	3.8%	3.7%
精検受診率	70%以上	65.7%	70.2%	68.1%
精検未把握率	10%以下	29.5%	24.8%	27.0%
精検未受診率	20%以下	4.8%	5.0%	4.9%
陽性反応適中度	1.3%以上	2.9%	2.5%	2.7%
がん発見率	0.03%以上	0.10%	0.09%	0.10%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検受診率 &gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【豊島区】大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	69,484	74,215	143,699
【東京都調査による対象者率(区部): 66.3%】			
実際の受診者数	6,479	9,403	15,882

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	30~39歳
左記以外の検査の実施	していない

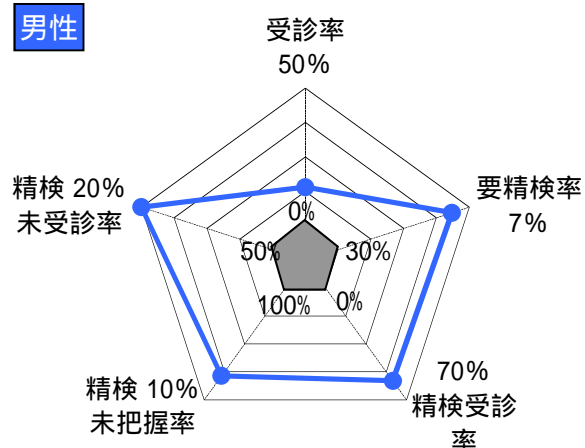
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

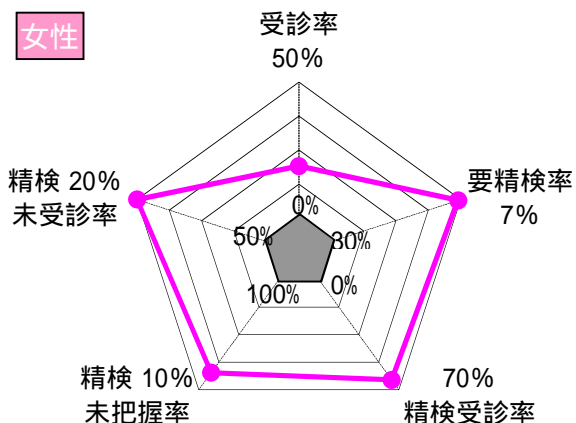
## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	14.1%	19.1%	16.7%
要精検率	7%以下	10.0%	7.4%	8.5%
精検受診率	70%以上	58.1%	63.8%	61.0%
精検未把握率	10%以下	29.3%	23.9%	26.5%
精検未受診率	20%以下	12.6%	12.3%	12.4%
陽性反応適中度	1.9%以上	4.8%	2.9%	3.8%
がん発見率	0.13%以上	0.48%	0.21%	0.32%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【豊島区】子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(20歳以上:隔年)	している
検査方法(細胞診)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		119,882	
【東京都調査による対象者率(区部): 63.7%】			
実際の受診者数		11,426	

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	HPV検査

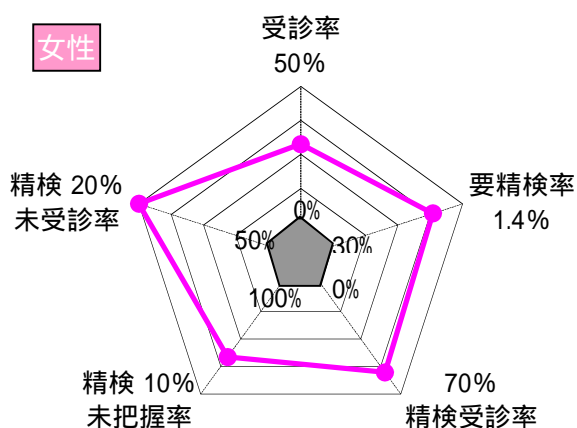
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		28.8%	
要精検率	1.4%以下		7.9%	
精検受診率	70%以上		56.3%	
精検未把握率	10%以下		40.2%	
精検未受診率	20%以下		3.5%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.9%	
がん発見率	0.05%以上		0.07%	

## 【評価結果】



## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【豊島区】乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく乳がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上:隔年)	している
検査方法(視触診及びマンモグラフィ)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		74,215	
【東京都調査による対象者率(区部): 72.3%】			
実際の受診者数		6,295	

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

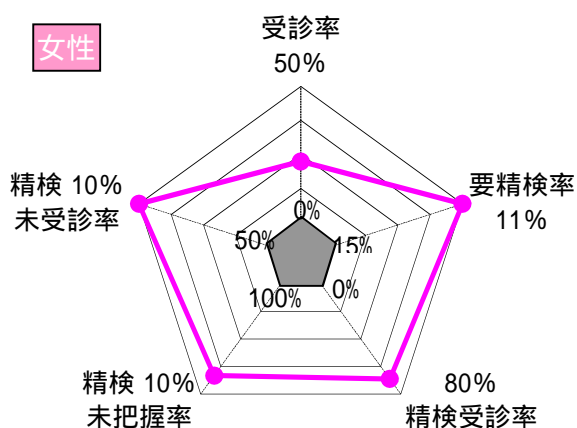
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		22.4%	
要精検率	11%以下		10.0%	
精検受診率	80%以上		69.1%	
精検未把握率	10%以下		25.0%	
精検未受診率	10%以下		5.9%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.40%	

## 【評価結果】



## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。